



今年も新型コロナ対策で1年が始まりました。昨年は11回もの補正予算が組まれましたが、今年も1月初めに臨時議会補正予算の為、急遽私がいばらき自民党代表として質疑させていただきました。

また、新型コロナ対策も少しずつわかってきましたので今回ご報告させていただきます。そして、これからは新しい生活の仕方になります。多くの皆様が基本を知って習慣にすればワクチン接種とあわせて新型コロナも収束していくと思いますので、前向きに頑張りましょう。

正しい知識を身につけ、一人ひとりが意識改革を！

6月の定例会で一般質問を行うにあたり、茨城県医療統括監安田貢先生との勉強会を行いました。そこで、今回の新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためには、やはり皆様一人ひとりの協力が改めて重要だと学びました。

また、『オードリー・タン デジタルとAIの未来を語る』という本を読み、「少数の人が高度な科学知識を持っているよりも、大多数の人が基本的な知識を持っている方が重要である」と書かれていました。

この言葉に強く感銘を受け、微力ですが、安田先生との勉強会で教わった今回の新型コロナウイルスの基本的な知識をお伝えしたいと思います。



茨城県医療統括監 安田貢先生との勉強会

変異株に対する対応策はありますか？

変異株でも従来型でも、飛沫による感染が主なため、感染症対策は同じです。①正しくマスクをつけること、②帰宅時などは手洗いをすること、③なるべく人と人と距離をとること(ソーシャルディスタンス)、④こまめに換気することが大事です。

変異株は特に感染力が強いため、外でも中でも同じようにマスクや距離をとることが必要です！

マスクの目的は？

マスクを着用する一番の目的は、他人に感染を広めないためです。そのためマスクは人に飛沫を飛ばさないことを心がけて着用するのが大切です。例えば鼻などがでてきている場合は、息をしたとき少しずつ飛沫がでてきている状態になるため、感染予防としては不完全になります。

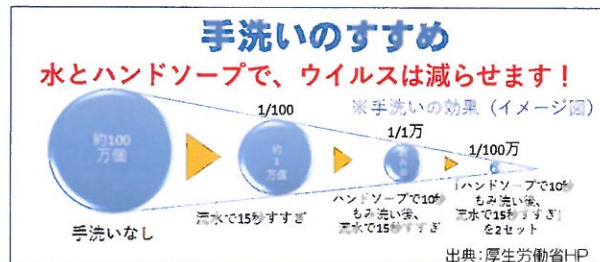
それと合わせて飛沫感染しないために、人と人との距離をとるソーシャルディスタンスも大切で、できれば2m、最低でも1mは確保して下さい。



正しくマスクをつけよう！

手洗いは効果あるの？

石けんで手洗いをするとウイルスが減らせることはわかっています。厚生労働省では次の5つのタイミングに手洗いをしてほしいと呼びかけています。①公共の場所から帰った時、②咳やくしゃみ、鼻をかんだ時、③ごはんを食べる時、④病気の人のケアをした時、⑤外にあるものを触った時。



窓をあけていれば大丈夫？

窓を開ける＝換気というわけではありません。部屋の対角線上に窓が2つあり、空気の通り道ができている場合は換気ができているといえます。建物の構造によっては、窓を閉めて換気ができるエアコンを取り付けた方がいい場合もあるそうです。車はエアコンの外気導入を利用した方が空気の入れ替えが行えているようです。

今回の勉強会で皆様が知っておいた方がよいと思ったことを簡易的にまとめました。基本的なことは昨年から言われていることとほとんど変わりません。ただ、何のためにマスクをつけるのか？なんで換気が必要なのか？理由を理解して行くと効果が違うそうです。県民一人ひとりが理由を理解し、自らがいかにウイルスに対抗するかを考え、イノベーションを図ることが必要となります。無症状であっても、絶えずウイルスを出しているという意識をもって、4つの対応策を習慣化していきましょう。

新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算などについて審議 令和3年1月臨時会 代表質疑(要旨)

初めての代表質疑
1月に初めていはらき自民党を代表して質疑を行いました。



県議会だよりに掲載しています



西野 一 議員
いはらき自民党
常任太田市・大子町選出
一括方式

新型コロナウイルス感染症対策
営業時間短縮要請協力金

議員 協力金は売上の補填と捉えられ、「一律支給では不公平」との声も聞く。不公平感の払拭に向けた県独自の施策検討も必要である。時短要請と協力金の円滑な執行にどう取り組むのか。所感は、知事 国は制度上、業種や経営状況に応じて支給に差をつけることを認めていない。一日も早く事業者に協力を届けるのが重要。RPA活用など事務の加速化を図るほか、資金繰り支援、雇用確保、新ビジネス転換などにも取り組む。感染拡大防止に向けた県民へのメッセージ発信等
議員 感染拡大防止に向けて「やっつよいこと、だめなこと」を明確にしたメッセージを発信し、「正しく恐れる」ことを県民に強く啓発することが、感染症対策と経済活動の両立に効果的である。わかりやすく効果的に事業者・県民に周知徹底すべきだが、取り組みは、知事 特に気を付けて欲しい場面を具体的にイメージできるような「マスクなしをなくしましょう。」と県民に呼び掛けてきた。県民の一人一人が自分事として行動変容につなげるため、記者会見の開催などに加え、あらゆる広報ツールを活用し、県民の理解と協力を得て、感染防止に取り組んでいく。(ほかに、編成方針等、地域経済を守るための更なる対策も質疑)

JR水郡線が全線運転再開

JR水郡線は一昨年の台風19号の影響により一部区間が不通でしたが、3月27日に全線開通しました。多くの方々のご尽力により早期開通となり感謝申し上げます。



水郡線全線運転再開

2021年3月27日



水郡線全線運転再開記念式典
(左から大井川知事、梶山経済産業大臣、赤羽国土交通大臣)

茨城県北ロングトレイルが一部開通

茨城県ロングトレイルとは、県北6市町に点在する自然・歴史・文化などさまざまな地域資源をつなぐ約320kmに及ぶ壮大な里山を歩くための道です。

3月に大子町の一部区間のコースが開通しました。今年度は大子町から常陸太田市の竜神峡周辺の作道が行われます。



1番目の道標を大井川知事が設置



途中の峠にて

茨城県北ロングトレイル公式HP

コースマップ、コース周辺施設の案内、トレイルの歩き方、PR動画などの詳細情報が載っています。

公式HP▶



県北地域を積極的に視察しています

昨今の状況を鑑みて、他県や県北以外の地域に視察できないため、感染対策に留意しながら、一昨年の河川災害地や北沢トンネル、203号バイパスなどの地元の地域の工事状況を視察しました。

茨城県監査委員
頑張ります

今年度は、通常委員会その他に茨城県監査委員のお役をいただきました。監査委員は、すべての県の行う事業が公正に行われているかどうかを皆様に代わってチェックする機関です。



袋田バイパスJR跨線橋



北沢トンネル舗装工事



久慈川緊急治水対策プロジェクト現場



奥久慈グリーンライン



監査委員席にて



監査事務局と一つ一つ協議、監査しています